

がん検診受診率の向上に向けた取り組み

1. 背景

小樽ではがんによる死亡が全国・全道と比べて多い一方、がん検診受診率が全国・全道と比べてきわめて低い。小樽市ではこの状況の改善を目指し、令和 6 年度から小樽市健康増進・自殺対策計画をスタートさせ、令和 10 年度に小樽市民のがん検診受診率を肺がんで 60%、胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんで 40%に向上させる目標値を設定したところ。

2. がん検診受診率の現状値

胃がん 26.1%、肺がん 43.3%、大腸がん 27.3%、子宮頸がん 27.8%、乳がん 25.2%

※ 市民アンケート（令和 4 年 1～2 月実施、1,883 人中 517 人回答、回答率 27.5%）より

3. 令和 6 年度 of 取組

① 広報

・「広報おたる」への特集記事の掲載、SNS による周知、チラシの配布

② 講演会の開催

③ イベントへの参画

④ 個別勧奨

・数年未受診者への受診勧奨はがきの送付

・子宮頸がん（20 歳）・乳がん検診（40 歳）無料クーポン券の送付

・子宮頸がん自己検査キットの送付（25 歳）

⑤ モデル地区（望洋台、幸町）の設定と取組

・住民へのがん検診の周知・アンケート調査の実施、出前講座

4. 令和 7 年度以降の主な取組（現在保健所で検討中のもの）

令和 6 年度に実施したモデル地区の取組結果などを踏まえ、令和 7 年度から令和 9 年度までの 3 年間でがん検診受診率の大幅な向上を目指して取組を進め、令和 10 年度の健康増進・自殺対策計画の中間評価においてこの効果を判定する。

① 広報の強化

・市内各所へのポスター掲示、バス広告、保健所等でのパネル展示 など

② 個別勧奨の強化

・数年かけて全市民（40～60 代男性と 20～60 代女性）に対してがん検診受診を勧奨する封書を送付

・無料クーポン券送付後の未受診者のがん検診受診を勧奨するはがきを送付

③ がん検診実施場所の拡大